

平成 30 年 10 月 2 日

芦屋市企画部市民参画課  
課長 浅野 令子 様

芦屋市立あしや市民活動センターリードあしや  
(指定管理者：(特活) あしや NPO センター)  
事務局長 橋野 浩美

季刊紙「リードあしや (42 号)」封入作業・交流会 報告

- 日 時：平成 30 年 9 月 26 日 (水) 14 時から 16 時
- 参加団体：NPO 法人 遺言相続相談所ひょうご (1 名)  
NPO 法人 相続遺言交通事故支援センター (1 名)  
認定 NPO 法人 フードバンク関西 (4 名)  
ランサーン会 (3 名)  
芦屋「九条の会」(1 名)  
(特活) キャンビズ (2 名)  
(特活) あしや NPO センター (1 名)
- 目 的：季刊紙郵送の際に、登録団体のチラシを同封し事業の広報として活用し、団体の交流の場として団体を繋いでいく。
- 内 容：チラシの同封希望団体から最低 1 人 1 時間、封入作業に協力することを条件に参加頂き、休憩時には各団体が同封チラシの事業内容・団体について紹介・情報交換をして交流を深めた。
- 評 価：チラシ封入作業は 7 団体・13 名の参加者があり円滑に進んだので、交流会の時間を長くとることができた。参加者に事業内容・団体についての紹介をしてもらい、中には「ためまっぷ」を熟知された方がおり、利用方法を説明するなど有意義な時間が過ごせた。
- 成 果：団体がお互いの事業に興味を持ち交流ができた。特にランサーン会がラオスの現状を紹介時には、電気などのライフライン・スマートフォンの普及についてなどの多くの質問があり、興味を持って頂いた。当日は交流スペースにて展示中だったランサーン会の活動内容を見て帰る方がいた。  
また、あしや NPO センターの Facebook に封入作業・交流会の様子の写真を掲載し、参加者からはコメントと「いいね」を頂いた。
- 振り返り：参加人数が多い場合は封入作業の準備を過剰にしないなど、調整を心掛ける。参加者の緊張をほぐす方法や話の進め方などを考慮し、更に有意義な交流会になるようにする。

封入作業の様子



交流会の様子

